

情報活用の実践力のルーブリック

情報手段の基本的な操作と適切な活用	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
	A. コンピュータやその他のICTに出会い、興味をもって使うことができる。	B. コンピュータやその他のICTの初歩的な操作について理解し、操作することができる。	C. コンピュータやその他のICTの基本的な操作について理解するとともにアプリケーションソフトの初歩的な操作することができる。	D. コンピュータやその他のICT、アプリケーションソフトの特性を活かした活用方法を理解することができる。	E. 課題や目的を解決するために、適切なICTを選択して活用することができる。	F. コンピュータやその他のICT、アプリケーションソフトの基本的な操作ができるとともに、課題や目的を解決するために適切なICTを選択し、特性を生かした活用することができる。
情報を集める力	1.コンピュータやその他のICTに出会い、電源の投入、終了やマウスの操作、機器を活用する際のきまりについて理解することができる。 2.情報を集めるためにデジタルカメラで静止画を撮影・再生することができるとともに、紙にまとめたものを発表するために、デジタルテレビ・プロジェクタ・実物投影機で拡大提示することができる。	1.コンピュータやその他のICTの構造を知り、画像処理ソフトで絵を描いたり、デジタルカメラで静止画を撮影したり、実物投影機などで拡大提示して発表したりすることができる。 2.情報を集めるためにデジタルカメラで静止画を適切に撮影・再生(撮影したものの確認、消去など)することができる。また、紙にまとめたものや実物、デジタルカメラで撮影した静止画などを拡大提示して発表するために、デジタルテレビ・プロジェクタ・実物投影機・デジタルカメラといったICTを活用することができる。	1.ICTで記録した静止画や動画、音声のファイルをコンピュータに移動させることができる。 2.適切な指使いで自分の名前や単語などを入力することができる。 3.指定されたフォルダに、指定されたファイル名で保存したり、ファイルを移動させたりすることができる。 4.ホームページや電子メールを作成する際のルールやマナーを理解することができる。 5.アプリケーションソフトを立ち上げ、文字を入力したり、写真を挿入したりするなど情報をまとめる際の一部分で活用することができる。 6.情報を集めるためにデジタルカメラで静止画及び音声を適切に撮影・録音・再生することができる。また、静止画や、プレゼンテーションソフトで作成した電子資料、紙にまとめたもの、実物などを用いて発表する際に、コンピュータや実物投影機・デジタルカメラ・プロジェクタ・デジタルテレビを活用することができる。	1.ICTで記録した静止画・動画・音声を他のソフトに挿入して活用するとともに、必要な静止画を選んで印刷することができる。 2.適切な指使いで単語や短い文章を入力することができる。 3.指定されたフォルダに、適切なファイル名をつけて保存したり、ファイル名を変えて移動したり保存し直したりすることができる。 4.インターネットのルールやマナーを理解し、キーワードを組み合わせて目的のWebページを検索することができる。 5.アプリケーションソフトの特性を生かした活用方法を理解し、情報を集める際に活用することができる。 6.情報を集めるためにデジタルカメラなどで静止画及び動画、音声を適切に撮影、録音、再生することができる。また、プレゼンテーションソフトを活用し、写真や絵図、文字を組み合わせて作成した電子資料や、紙にまとめた資料などを用いて発表するために、コンピュータや実物投影機、プロジェクタ、実物投影機、デジタルテレビを適切に活用することができる。	1.適切な指使いで文章を入力することができる。 2.フォルダを作成して、ファイルを整理・保存することができる。 3.ブラウザ、メールソフトの基本的な操作ができ、情報の検索やコミュニケーションに活用することができる。 4.課題や目的を達成するために、積極的にアプリケーションソフトを活用し、情報をまとめることができる。 5.情報を集める上で適切なICTを選択・活用することができる。また、プレゼンテーションソフトを活用し、写真や絵、図表、文字を組み合わせて作成した電子資料や、紙にまとめた資料などを用いて発表するために、適切なICTを選択して活用することができる。	1.10分間に200文字程度の文字を入力することができる。 2.課題や目的に合わせて適切にフォルダを作成し、活用しやすように分類して保存することができる。 3.課題や目的を解決するためにインターネットや電子メールを根拠をもって選択し、インターネットや電子メールの特性を生かして活用することができる。 4.課題や目的を達成するために、適切なアプリケーションソフトを選択し、特性を生かし効果的に情報をまとめることができる。 5.情報を集める上で適切なICTを選択し、特性を生かして活用することができる。また、プレゼンテーションソフトを活用し、写真や絵、図表、文字、動画などを組み合わせ、アニメーション効果などを用いて発表するための、適切なICTを選択して特性を生かして活用することができる。
	A. 実際に見たり、体験したりしたことや、人に聞いたりしたこと、絵や写真、文章を見たり読んだりしたことから、情報をワークシートやカードにかき抜いたり、写真に撮ったりして集めることができる。	B. 実際に見たり、体験したりしたことや、人に聞いたりしたこと、絵や写真、文章を見たり読んだりしたことから必要な情報をワークシートやノートにかき抜いたり写真に撮ったりして集めることができる。	C. 実験や見学などで体験したことや、人に会ってインタビューしたこと、図書などの資料を見たり読んだりしたことから集めた情報を比較して必要な情報を選び、分類し整理することができる。	D. 今までに経験した情報を集める方法と、アンケートやインターネットで情報を集める方法から、適切な方法を選択し、必要なものと不必要なものに分類したり、配列したりして整理することができる。	E. 課題や目的に応じて、今まで経験した情報を集める方法を使って、必要な情報を集め、情報を整理することができる。	F. 課題や目的に応じて、情報を集める方法の中から適切な方法を選択して、必要な情報を集め、集めた情報を後で使いやすように、自分なりに工夫して整理することができる。
情報をまとめる力	1.観察して情報を集めることができる。 2.絵や写真を見て情報を集めることができる。 3.文章を読んで情報を集めることができる。 4.人に質問して情報を集めることができる。 5.デジタルカメラで撮影して情報を集めることができる。	1.観察・計測して必要な情報を集めることができる。 2.絵や写真と文章を照応させて必要な情報を集めることができる。 3.文章から必要な言葉や文を抜き出して情報を集めることができる。 4.デジタルカメラを活用して必要な情報を撮影して集めることができる。 5.手紙で必要な情報を集めることができる。 6.必要なことを聞き落とさないようにメモやノートに書き取りながら情報を集めることができる。	1.準備をした上で適切な言葉遣いでインタビューをして情報を集めることができる。 2.見字の中から必要な情報を集めることができる。 3.実験の中から必要な情報を集めることができる。 4.目的に応じて図書を選び必要な情報を集めることができる。 5.デジタルカメラで静止画及び音声を撮影・録音・再生し、必要な情報を集めることができる。 6.辞書を使って必要な情報を集めることができる。 7.絵や写真、文章、図、表、グラフ、映像などの資料から、必要な情報を集めることができる。 8.課題の解決に必要な事例(必要な事例)を集めて情報を分類することができる。 9.書かれていることや考えていることを比較して情報を集めることができる。 10.話の中心に氣をつけて聞き、更に知りたいことを質問するなどして情報を集めることができる。	1.アンケートを作成、回収し、表、グラフに表して分析することで情報を集め整理することができる。 2.インターネットを活用して情報を集めることができる。 3.デジタルカメラなどで静止画、動画、音声を撮影、録音するなど目的に応じた方法で情報を集めることができる。 4.今まで経験した情報を集める方法から、適切な方法を選択して情報を集めることができる。 5.必要な情報と不必要な情報を区別し、分類して情報を整理することができる。 6.課題を決め、調べる方法を選択し、計画を立てて情報を集めることができる。 7.集めた情報をまとめやすいように配列して、整理することができる。 8.目的や必要に応じて情報を聞き分け、自分にとって必要な情報を集めることができる。	1.漢字辞典で情報を集めることができる。 2.新聞の記事を読んだり、2つの記事を比較したりして情報を集めることができる。 3.目的や状況に応じた聞き方(インタビュー)を理解して情報を集めることができる。 4.社会的なことや統計資料から必要な情報を集めることができる。 5.インターネット、電子メールの活用の仕方やルールについて理解し、情報を集めることができる。 6.適切なICTを選択し活用して情報を集めることができる。 7.図・表・グラフと文章を関連させながら説明されていることを読み取ることができる。 8.集めた情報の全体を見通して、必要なものを選択することができる。 9.集めた情報を目的に応じて比較したり、分類したり、配列したりして、整理することができる。	1.課題や目的を解決するためにインターネットや電子メールを根拠をもって選択し、それぞれの特性を生かして情報を集めることができる。 2.適切なICTを選択し、特性を生かして情報を集めることができる。 3.時間的な見通しと、まとめたり伝えたりするときのイメージを基に、情報を集める方法を選択し、計画立てて情報を集めることができる。 4.集めた情報を、後で使いやすように、自分なりに工夫して記録し、再構成することができる。 5.自分の考えとの共通点や相違点を明らかにしながら情報を集めることができる。
	A. 集めた情報と考えを基に、文章(表現様式)や絵で、伝えたいことを意識してまとめることができる。	B. 集めた情報と考えを基に、必要な要素を落とさずに文章(表現様式)や絵で、伝えることを意識してまとめることができる。	C. 集めた情報と考えを基に、絵や写真、文章(表現様式)、図、表、グラフを必要に応じて組み合わせて伝えることを意識して資料にまとめることができる。	D. 集めた情報と考えを基に、絵や写真、文章(表現様式)、図、表、グラフ、動画を組み合わせて新聞やポスター、リーフレット、コンピュータのプレゼンテーションソフトで作成する資料などに受け手が興味をもって見てくれるように工夫して、伝えるための資料にまとめることができる。	E. 課題や目的に応じて、集めた情報や知識を関連づけ、目的や意図に合った構成を工夫しながら、伝え方に適した方法でまとめることができる。	F. 課題や目的に応じて、情報をまとめる方法の中から適切な方法を選択し、興味関心を引き、説得力をもつような工夫をしてまとめることができる。
情報を伝える力	1.例に準じて絵日記や手紙などにまとめることができる。 2.伝えたいことがよくわかる組立てを考えて、ちらしなどにまとめることができる。 3.キーワードを意識したり、語と語の続き方に注意したりして、簡単な文章にまとめることができる。	1.説明文にまとめることができる。 2.観察記録文にまとめることができる。 3.紹介文に必要な要素が何かを理解し、それを入れてまとめることができる。 4.伝える相手と伝える内容を明確にして、手紙にまとめることができる。 5.はじめ・中・おわりの構成で文章を書いている。 6.集めた情報を基に、絵や文章、写真などを組み合わせ、照応させながらまとめることができる。 7.順序を表す表現を用いてまとめることができる。	1.手紙や電子メール、はがきを書くときに必要な事柄を把握して、具体的な内容を盛り込みながらまとめることができる。 2.報告の型にそって文章でまとめることができる。 3.簡単なポスター、リーフレット、パンフレットにまとめることができる。 4.簡単な新聞にまとめることができる。 5.アプリケーションソフトで文字を入力したり、写真を挿入したりして情報をまとめることができる。 6.プレゼンテーションソフトを使って4枚程度の簡単な提示資料にまとめることができる。 7.文献を参照したり引用したりしてまとめることができる。 8.大切な言葉や部分を強調してまとめることができる。	1.アンケートを基に結果を分析して考えをまとめることができる。 2.報告書の型に沿って絵や写真、文章、図、表、グラフなどを効果的に組み合わせてまとめることができる。 3.新聞の目的と特性を理解し、絵や写真、文章、図、表、グラフを効果的に組み合わせてまとめることができる。 4.写真と文章を対応させてリーフレットにまとめることができる。 5.アプリケーションソフトの特性を生かして情報をまとめることができる。 6.敬体と常体が混在しないようにまとめることができる。 7.引用したり要約したりしてまとめることができる。 8.吹き出しをつけたり、色を変えて分類したりするなどの工夫をしてまとめることができる。 9.書いたものを読み返し、間違いを正したり、よりよい文になるように表現を考えたりしてまとめることができる。 10.グループで意見を交わり、結果の分析をして考えをまとめることができる。	1.活動報告書、提案書の型に沿ってまとめることができる。 2.課題や目的を達成するために、積極的にアプリケーションソフトを活用し、情報をまとめることができる。 3.集めた情報を基に、効果的な記事の書き方や編集の仕方などを理解してまとめることができる。 4.引用したり、事例をあげたりして、根拠を示しまとめることができる。 5.考えと根拠を区別してまとめることができる。 6.グラフや表を引用してまとめることができる。 7.複数の資料を組み合わせて新しい資料にまとめ作り出すことができる。 8.矢印を効果的に使ってまとめることができる。(指し示す矢印、動きを表現する矢印、時間の変化を表す矢印など) 9.伝えたい順序や強調したい部分に、番号や記号、印などを入れてまとめることができる。	1.絵や写真、文章、図、表、グラフ、キャッチコピーなどの特徴や効果を意識してパンフレットにまとめることができる。 2.課題や目的を達成するために、適切なアプリケーションソフトを選択し、特性を生かして効果的に情報をまとめることができる。 3.注や引用などの情報を加えて、意見が説得力をもつようにまとめることができる。 4.出来事などの描写と感想を書き分けてまとめることができる。 5.興味を引くようにキャラクターや記号、マークなどを作成し、効果的に挿入することができる。
	A. 受け手を意識して伝えることができる。	B. 伝えたいことが伝わるように受け手を意識して伝えることができる。	C. 伝えたいことが伝わるように、受け手を意識して、大切な部分を強調したり適切な言葉遣いを用いたりして伝えることができる。	D. 伝えたいことが伝わるように受け手の状況を考えて工夫して伝え、伝え合ったときのことを振り返り、友だちの情報の伝え方について評価することができる。	E. 課題や目的に応じて、受け手や場に応じた適切な方法や言葉遣いで伝え合うことができるとともに、情報の伝え方について自己評価したり、他者評価したりすることができる。	F. 課題や目的に応じて、情報を伝える方法の中から適切な方法を選択して、伝えたいことが受け手に印象深く伝わるように工夫して伝えることができるとともに、情報の伝え方について自己評価したり、他者評価したりすることができる。
情報を伝える力	1.実物を見せて伝えることができる。 2.紙にまとめたものを見せて伝えることができる。 3.簡単な劇で伝えることができる。 4.ICTで、紙にまとめたものを拡大提示して伝えることができる。 5.受け手の方を見て、話をするができる。 6.姿勢や口形を意識して、話をするができる。	1.ICTで写真や実物、紙にまとめたものを拡大提示して伝えることができる。 2.伝えたいことを明確にし、意識して伝えることができる。 3.声の大きさ、速さ、顔の向きに注意して、はっきりした発音で伝えることができる。 4.受け手が見やすいように立つ場所や、提示の場所などを考えて伝えることができる。 5.提示したものをさし示しながら伝えることができる。	1.実物や紙にまとめたものをはじめ、コンピュータでまとめたものをICTを用いて、効果的に伝えることができる。 2.書いたものを読み合い感想を伝え合うことができる。 3.敬体と常体の使い分けを意識して適切な言葉遣いで伝えることができる。 4.相手を見て、大切な言葉や部分を強調して伝えることができる。 5.言葉の抑揚、声の大きさ、間の取り方などを注意して伝えることができる。 6.身振り手振りを入れて伝えることができる。	1.相手を決めて手紙で情報を伝えることができる。 2.電子資料と紙にまとめた資料をICTを活用して効果的に伝えることができる。 3.資料を提示し、伝えたい事柄に注目するような工夫をして説明や報告をすることができる。 4.受け手の反応を確認しながら、臨機応変に説明を補足するなどして伝えたいことを伝えることができる。 5.電子資料や、紙にまとめた資料を、適切なICTを選択して効果的に伝えることができる。 6.発表を聞いて感じたことを、助言することができる。 7.書いたものを読み合って、助言し合うことができる。	1.適切な情報手段を選択して伝えることができる。 2.必要に応じて共通語を使うなど、場に応じた適切な言葉遣いで伝えることができる。 3.資料を提示し、伝えたい事柄に注目するような工夫をして説明や報告をすることができる。 4.受け手の反応を確認しながら、臨機応変に説明を補足するなどして伝えたいことを伝えることができる。 5.電子資料や、紙にまとめた資料を、適切なICTを選択して効果的に伝えることができる。 6.発表を聞いて感じたことを、助言することができる。 7.書いたものを読み合って、助言し合うことができる。	1.電子資料や、紙にまとめた資料などを用いて発表するために、適切なICTを選択し、特性を生かして効果的に情報を伝えることができる。 2.相手や場に応じて適切に敬語を使うことができる。 3.伝えたいことが受け手に、よく伝わるようにまとめて話すことができる。 4.印象深く伝わるように話し方を工夫して伝えることができる。 5.書き言葉と、話し言葉の違いに気づき、適切に使い分けて伝えることができる。 6.事実と意見とを区別したり、引用部分を明確にしたりして伝えることができる。 7.受け手の反応を確認しながら、臨機応変に説明を補足したり、問いかけやさし示し、書き込みなどの工夫をしたりして、伝えたいことを伝えることができる。 8.まとめたものを伝え合い、表現の仕方や目的にてらし、更によりよくなるための助言をすることができる。 9.書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して、助言し合うことができる。